

R3年度地域課題への取組 報告書

提出日 令和6年2月29日 部会名・WG名 GH 休日支援 WG

取組んだ課題

前年度学校卒業後の夕方の支援について検討する中で、GHでの休日の過ごし方も課題があがってきた。今年度はGH事業所や居宅介護事業所を中心としたメンバーで実際の過ごし方や休日余暇活動に対する課題について検討、希望する活動を支えるために必要なことを話し合った。

取組んだ内容・得られた結果	今後の方向性	方向性を出した理由
<p>ワーキングメンバーを GH 関係者、居宅介護事業者で招集、障害特性（身体、重度の知的、軽度の知的）でグループ分け。その人がその人らしく過ごせているか、という視点で休日の支援の現状と課題を出し合った。</p> <p>外出したいというニーズに対し、支援者が複数人を車で一緒に連れていく現状。本場にその人が行きたい場所へ行って食べたいものを食べられているか、という課題がみられた。また、休日ホームで過ごせている人には、過ごせているからそれだけで良いのか、という支援の必要性が上がってきた。身体障害の方は移動手段が課題。重度知的障害の方は平日と生活リズムが変わることで精神面の不調をきたしやすいことが上がった。</p> <p>課題として、休日個別支援が少ないことが挙げられた。GH利用者が移動支援等利用することは少ない。支援に携わられる事業所不足も課題として挙がっている。</p>	<p>■ 施策化</p> <p><input type="checkbox"/> WG化</p> <p><input type="checkbox"/> 終結</p>	<p>・休日余暇を支援するマンパワー不足解消のため、既存するレクリエーション活動等支援事業の広がりを提案したい。(仮称:コミュニティサポーターコーデイネーター配置事業)</p> <p>GH で暮らす障害者の短時間でのお出かけや買い物に対してあらかじめ登録した市民が自身の空き時間等を使ってサポーターとなれるよう、そのマッチングをするコーデイネーターを配置して地域で暮らす障害者と市民の交流の機会になるとともに障害者のより豊かな生活を目的とする。</p>